

福井県 退教通信

編集・発行所
福井県退職教職員会
郵便番号 910-8544
福井市大手2-22-28
福井県教育センター内
電話 (0776)23-9191

第46号

福井県退職教職員会総会



新体制スタート 定期総会開催される

第39回県退職教職員会総会は、支部代議員、来賓、顧問、役員など120余名が参加して、報告事項や本年度の活動予算に係る議案などが承認、可決されました。

また役員改選により、野坂哲夫会長、百田泉治副会長と前川一子副会長が任期を終え、退任されました。替わって新会長に奥本明義氏、副会長に杉本繁行氏と室賀幸子氏が選出され、新体制がスタートしました。

「活動方針について」

一、生きがいづくり支援

「めざせ100歳!」を活動スローガンとし、充実した楽しい人生を送りたいと願う会員相互が、親睦や交流、研修等を通して「より良く、より豊かに生きる」という個人の理想追求「生きがいづくり」を支援します。特に各支部では、「生きがいづくり」を中心に実践する中で、「健康づくり」や「仲間づくり」などの活動を展開します。

二、豊かで安心できる生活

健康や医療・介護、年金などの悩みや不安は、高齢者の生活にとって大きな問題となっています。こうした問題は、個人の力では解決できません。会員の生活維持・向上をめざした組織的な活動が必要で、心身ともに豊

【平成26年度予算】

<収入の部>

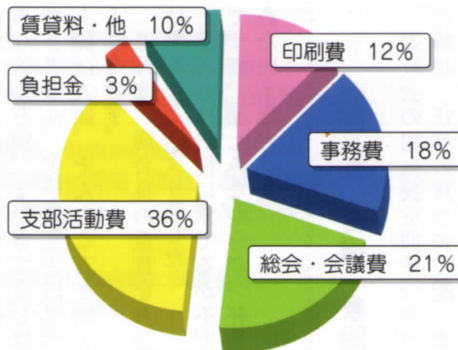
項目	予算額
会費	2,670,000
入会費	400,000
助成金	850,000
繰越金・他	198,926
合計	4,118,926

<支出の部>

項目	予算額
印刷費	490,000
事務費	740,000
総会・会議費	880,000
支部活動費	1,495,000
負担金	120,000
賃貸料・他	393,926
合計	4,118,926

※重点事項

- 支部活動の充実
- 退教通信の充実
- 総会費・会議費の経費削減



かで安心できる生活を築くために、私たちの声を国に届ける活動に、連携・協力します。

二、子どもたちへの教育支援

教育に携わってきた者としての誇りを持ち、これまで培ってきた知恵を生かして、学校支援活動や地域社会への貢献活動をお願いします。また「教え子を再び戦場に送らない」よう、平和と民主教育を守る働きかけをします。

開会挨拶要旨

**死は人生の終末ではなく
生涯の完成である**
～発想の転換で明るく～

前会長 野坂哲夫

最近私は、「生あるものは必ず死す」という自然の原則を身近に感じるようになってきたせいか、気がかりなことがあります。

一、どうしても死は暗く、不安な
のでしようか。

二、死を明るく、前向きに捉える
考え方を幾つか探ってみました。

識者、賢者、宗教関係者の声から、特に心に響いたのは…

◆仏になることです。

◆死とは人生の終末ではなく、
生涯の完成と考えたいのです。

◆人は死ぬことで、阿弥陀仏が
温かく迎えてくれる、美しく

第43回日退教定期総会

6月10日 東京・日本教育会館

「積極的平和主義」の名のもと、「戦争をしない国」から「戦争をする国」への転換に躍起になっている安倍政権に対し、「教え子を再び戦場に送るな」の誓いを、多くの国民の声や署名として送りつけ、思いとどめさせるため、全国規模の「戦争をさせない1000人委員会」運動への参加を決議した。

まばゆい浄土に生まれ変わる
のです。等

これらの意見は、死を明るく、爽やかに捉えた歓迎すべき考え方、ホッとしています。

◎ 私たちには、「良く生き、良く死ぬ」ことが求められています。そのためには「今の生き方」が鍵を握っているようです。

三、生きている今を充実させるために。

○ 輝いて生きよう

○ 病气や老いと仲良くし、しなやかな心と体を作ろう

○ 自分を磨き、人格の完成を目指そう (ゆつくり)

○ 高齢者の役割って何かを考えよう (自立と尊敬)

○ お迎えが来た時に、「いい人生でした。ありがとう。」といえるようにしよう (感謝)

一度しかない人生です。
自分で設計し、生き抜き、そして、自分流の「生涯を完成」しよう。

第38回北プロ退教定期総会

6月23日 福井県あわら市

北プロ事務局担当県として、北陸4県の各単会からは31名、福井県からは10名が参加して、あわら市で開催された。

本年度の活動方針ならびに役員改選を行った後、研修会が持たれ、「退教の有り様」について日退教副会長の佐藤昌二氏からの話題提供に基づき、話し合いが行われた。

就任の挨拶

感謝という魔法

会長 奥本 明義



「古希の祝い(?)に」といいただいた会長という贈物、その重責を思い、戸惑いは今も拭きできていません。

ただ、県退教事務局4年間、多くの出会いに恵まれ、得た感動と励ましへの感謝の念は大きいものがあります。

キラキラとした快老生活を愉しんでおられる先輩諸氏、ようやく時を得て趣味の世界に没頭している仲間たち。

その生き生きとした姿を垣間見て、あこがれ、励まされ、それをまた「人生を愉しむ」ヒントとして退教通信等で会員に届けられる喜びは、何物にも替え難いものでした。

「感謝は、過去に意味を与え、現在に平穩をもたらし、明日に希望を与える魔法」とか。「この魔法にかけられてみるか」と言い聞かせ、自分を奮い立たせているこの頃です。

感謝

退任の挨拶

退教よ、永遠なれ!

前会長

野坂 哲夫



長い間お世話になり、ありがとうございました。

本年度より、奥本会長中心の新体制で出発することになりました。倍旧のご支援をお願いいたします。

退教の願いはただ一つです。「会員一人ひとりの生き甲斐作りを支援することです。」

〇係や会員の奉仕と熱意と善意が頼りです。

〇人のために何ができるか考えていたいただきたいのです。

かつて、プロ野球の巨人軍選手・監督だった長島茂雄氏の現役引退時の言葉が印象的です。

氏は大観衆の前で「巨人軍は不滅です」と宣言して、拍手喝采を浴びました。私も大スターにあやかっ

退教よ、永遠なれ!

と宣言させていただき、信じ、退任の御礼に替えさせていただきます。

ありがとうございました。

副会長 杉本 繁行



退職して7年、野菜づくりを楽しんでいます。

育てたように育ちます。肥やしや水のやり方は子育てと一面重なります。ただ野菜は作り直しができます。子どもは、同じ様に育ても成長可能性は無限であり千差万別、また育て直しはできません。やはり野菜は野菜、人間は人間、そんなことを考える昨今です。

この度、副会長の重責をお受けすることになりました。どれだけお役に立てるか不安ですが、楽しみながら精一杯務めたいと思います。

副会長 室賀 幸子



家庭菜園で野菜を育て、朝夕、草取りや水やりをしながら日々

の成長を喜んでいきます。教育と同じで、目をかけ手をかけ、心をかけてあげると、心なしか美味しく、収穫もよいような気がします。

思いもしなかった大役を引き受けすることになり、若輩の身でお役に立てるのかと心もとないところです。しかし、皆様のご指導やご支援をいただきながら任務を全うしたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

前副会長 百田 泉治

退教会の副会長を仰せつかった時は、任務の重さに心配しました。しかし、会長をはじめ理事、事務局、そして会員各位のご助言ご協力により、無事務め終えることができましたこと厚くお礼申し上げます。

2010年の県民の平均寿命は、男性80・47歳、女性86・94歳、対して健康寿命は男性71・11歳、女性74・49歳。つまり健康でない期間が10年前後もあるのです。

本年の総会で豊田氏の心身ともに若々しくバイタリティーに富んだお姿に接し、我々も退教会のスローガン達成に向けて歩んで行きたいとの念を強くしました。

前副会長 前川 一子

「求めよ、さらば与えられん!」先日、豊田三郎氏のご講演をお聞きする機会を得、更にその感を強くしました。

106歳の全身から発する目標達成への意欲的なお姿に、ただただ感動しました。

同時に「求める者」にはそんな気概も与えられるのではと虫のよい望みも抱きました。

「めざせ100歳!」退教会のスローガンを前に、2年間は自身の姿を問い直す機会となり、ご教示等頂くばかりであったことを反省しながら退任のご挨拶にさせていただきます。

平成26年度
福井県退教職員会役員
(2年次)

◆会長

◆副会長

◆常任委員

◆監査委員

◆顧問

◆支部長

◆担当書記

◆編集委員

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

◆事務局長

中鋸野早吉宮福片辻今繁網山眞水勝細和荒鈴江
川屋阪瀬田崎島岡村田田田目野木江田木木岸
美恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵恵
津美子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子
恵美子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子
津恵子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子

野木林菅金道芝佐田杉室大木坪角鍋
坂村谷牧場井井井井井井井井井井井井井井井井井
哲勝美勝美勝美勝美勝美勝美勝美勝美勝美勝美
夫弥子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子

※は新役員